

**(5) 本研修会（コーチングの理論&実践 等）を振り返ってみましょう♪**

～ 振り返りの視点 ～

- ①同僚から学んだこと
- ②研修後に変わった自分の考え
- ③新しい疑問、不思議に思ったこと
- ④これからの授業やその他業務で生かしたいこと
- ⑤授業や生徒指導などのつながりで気づいたこと、発見したこと

「コーチング」という言葉はよく耳にしていましたが、細かい内容については分かりませんでした。今回「コーチング」を実践してみて「ほめる」ことの大切さ、傾聴やうなづきなどの大切さを肌で感じることができました。「人ってほめられるとこんなにも幸せな気分になる」ということを学びました。日々の学校生活の中で、意識、意欲の高さは個人個人によって差があります。どの子にもすばらしい可能性があるということを入頭に、これからの教育活動に励んでいきたいと思えます。富野一枚岩、チーム富野一丸になって富野っ子とともに頑張っていきたいです。

「すごいね」「さすがだね」というほんの些細な言葉でも、言われる言われないでは大きな違いがあると感じた。生徒に授業の中では意識してかけるようにしているが、普段の触れ合いの中でも「ほめ言葉」を使っていきたい。コーチングの中でオウム返しで切り返すやり方があるが、引き出すのにとっても時間がかかる子に対する時の言葉の引き出しも増やしていきたいと思った。褒め合うのは照れくさいことだけど、大人同士でも声を掛け合うことで表情がこれだけ明るくなることに驚いた。子どもたちにもこの雰囲気や伝わるように職員間でもこの声かけを続けていきたいと思った。

スクールカウンセラーの岡田先生と生徒の振り返りをする際、コーチングスキルを活用しながら心を開かせているの感じていましたが、本日の研修で様々な対応を実感できました。教育相談や個々の話をしながら生徒の聞き役になり、サポートするきっかけになるといいなと思っています。また今日は褒められる場面があり、とてもHappyな気持ちになりました。職員も忙しいからこそこの様な場面があるといいです♪

コーチングについて理論から実践を学びました。特に実践では自分が相手に褒められるのも嬉しいですが、相手を褒める時にも自然と笑顔になっている事に気づきました。児童、生徒、職員間の良好な人間関係を築くためにも今回学んだ内容を生かしていきたいと思えます。

今日の研修で改めて人に認めてもらう「ほめてもらう」ことの良さ「大切さ」を実感しました。大人の私がほめられて嬉しくなるということは、子どもはもっと嬉しいんだろうと思い、今日から仕事でも家庭でも「ほめる」ことを意識して、そして、子どもの考えを聞く（待つ）ことに注意していこうと思います。「可能性は無限大」その可能性を引き出す手伝いができる力を身につけたいと思います。

私はこの研修をする前までは「コーチング」とはリードする事だけだと思っていました。しかし、コーチングの定義やコーチングの前提のなる考え方を教えてもらい「答えはその人（子ども）自身が持っている」ことを意識していける教師にならなければ！！と思いました。また、コーチングの実践では「ほめて、ほめて、ほめまかれる気持ちの良さ♪最高～♪ 帰りの会でも取り組んでいきたいと思います。

年齢はずっと下でも、子どもたちも自分と同じ「一人の人間である」ということをいつも意識するようになってきました。これからもこの点はゆるぎなく貫いていきたいと改めて思いました。それから、自分一人で頑張るのではなくて、たまには他人に甘えても周りの人たちと手をたずさえて同じ方向に歩む喜びも感じながらやっていけたらいいなあ・・・とも思いました。

